

## 中国の自動車マーケット視察について

今般、3月初旬に、実験部より3名で、中国へ出張し、現地の保険会社および自動車メーカーとの交流により、中国の自動車マーケットに関する情報収集を行いました。

### 1. 新車マーケット全体概況

中国の自動車マーケットは、2018年の新車販売台数が前年比2.8%減の2,808万台となり、減税打ち切り前の駆け込み需要の反動減に加え、米中貿易戦争などによる景気の先行き不透明感の影響もあり、28年ぶりの前年割れになったと報じられています。

### 2. 新エネルギー車（電気自動車等）の販売動向

このような中国の自動車マーケットでは、19年から自動車メーカーに一定比率の電気自動車(EV)など新エネルギー車の製造を義務付ける制度が導入され、新エネルギー車マーケットは急速に拡大するものと思われます。電気自動車の普及に重要な要因として充電スポットの拡充が挙げられますが、中国では既に、スマホアプリ等ですべての充電設備の位置、稼働状況、満空状況が分かるようになっており、ガソリンスタンド以上にインフラとして整備されつつあります。2018年の新エネルギー車は62%増の125万台、2019年には約3割増の160万台と予測する報道もあります。

### 3. 自動車メーカー組立工場

自動車組立工場の製造ラインは、自動化(ロボット化)が進み、作業者が比較的少ない印象を受けました。コスト競争力が要因と推察されますが、新車の販売価格も日本メーカー車と比べて3割程度安い水準にあり、今後の中国メーカー車の販売は更に伸びていくものと推測されます。

また、電気自動車においては、自動車メーカーが車両走行データを活用できるテレマティクスも進んでおり、新たなサービスの可能性も感じられる状況です。

### 4. 自動車メーカー研究施設

C-NCAP(China-New Car Assessment Program)への対応に必要な各種評価試験の設備があり、衝突安全等に関する評価も欧米や日本に見劣りしない試験が行われている状況にあります。今後、各国のレギュレーションへの対応が進められ、輸出車も拡大していくものと推測されます。

### 5. 自動車保険

中国では保険はまだ自由化されていない状況にありますが、自由化を見越して様々な研究が進められようとしています。中国でも、保険自由化によって、日本の自動車保険市場で成熟化してきたように、自動車ユーザーニーズに応える保険商品が登場してくるのも遠くない将来のことと予感させる状況にあります。

米国の1.6倍の規模を誇る世界最大の中国市場でも、自動車メーカーの競争は厳しさを増していくと推測され、また、自動車保険マーケットも自由化動向によっては大きく変貌を遂げる可能性があります。世界の自動車産業が大きな影響を受ける中国マーケットに今後も目を向け、動向を注視していきます。

以上